

宮城県感染症発生動向調査情報(第9週)

宮城県【平成25年03月07日】発行
宮城県保健環境センター
TEL (022)257-7228

— 2013.2.25 ~ 3.3 ・ 第9週 —

上段は患者発生数、下段は定点当たり

疾病	保健所							患者数	累計	宮城県(含む仙台市)				
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼			患者数	第6週	第7週	第8週	第9週
水痘	16 3.20	13 1.30	6 1.20	3 1.50	3 1.00	6 1.20	1 0.50	30 1.15	78 1.34	730	◎→	◎→	◎→	◎
流行性耳下腺炎	1 0.20	4 0.40		1 0.50	1 0.33	9 1.80	8 4.00	2 0.08	26 0.45	247	レ→	→	○→	○
百日咳											→	→	→	
感染性胃腸炎	56 11.20	42 4.20	17 3.40	12 6.00	47 15.67	96 19.20	22 11.00	138 5.31	430 7.41	3,207	◎→	◎→	◎→	◎
手足口病	2 0.40					1 0.20		2 0.08	5 0.09	106	→	→	→	
伝染性紅斑	7 1.40	1 0.10					5 2.50		13 0.22	74	→	→	→	
突発性発しん	3 0.60	3 0.30	4 0.80		2 0.67	5 1.00		10 0.38	27 0.47	275	○→	レ→	○→	○
ヘルパンギーナ											→	→	→	
インフルエンザ	51 6.38	103 6.87	98 12.25	25 8.33	61 12.20	45 5.63	25 6.25	353 8.40	761 8.18	13,054	◎→	◎→	◎→	◎
咽頭結膜熱	2 0.40			1 0.50				9 0.35	12 0.21	115	→	→	→	
流行性角結膜炎	1 1.00							1 0.17	2 0.17	15	→	→	→	
急性出血性結膜炎		1 0.33							1 0.08	1	→	→	→	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	16 3.20	27 2.70	5 1.00	5 2.50	3 1.00	46 9.20		36 1.38	138 2.38	793	◎→	◎→	◎→	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)											→	→	→	
無菌性髄膜炎											→	→	→	
マイコプラズマ肺炎	1 1.00		3 3.00		2 2.00	2 2.00	13 13.00	8 1.60	29 2.42	212	レ→	○→	レ→	○
クラミジア肺炎(オウム病は除く)											→	→	→	
RSウイルス感染症	3 0.60	2 0.20						2 0.08	7 0.12	139	→	→	→	
拡張疾病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	2	1	8		2	4	3	4	◎：流行の変化について、今後の情報に十分注意 ○：発生または流行について、今後の情報に留意 レ：発生が少なくなっている傾向 《週報の詳細》宮城県保健環境センターのホームページをご覧ください。 http://www.ihe.pref.miyagi.jp/~kansen-center/				
	川崎病													
	不明発疹症				1			2						

今週の全数報告疾病

*男児、女児は6歳未満

- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: 結核

塩釜管内 女性2名
栗原管内 男性1名
登米管内 女性3名
石巻管内 女性1名

- 3類感染症: 報告なし
- 4類感染症: 報告なし
- 5類感染症: 風しん

石巻管内 男性1名
梅毒
仙台管内 女性1名

今週のインフルエンザによる入院患者報告 9例 (仙台市を含む基幹定点報告)

今週の感染症のコメント

— 宮城県感染症対策委員会情報解析部会 —

[インフルエンザ]

大崎管内で警報継続中。
登米管内で注意報継続中。
患者数は県全体では減少傾向にあるが、大崎、登米管内でまだ多く、さらに県北部の学校で休業措置が報告されているので、引き続き注意が必要である。
インフルエンザに関する解説や予防法については、厚生労働省の下記「インフルエンザ一問一答」などを参考に
http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkakukansenshou01/dl/leaflet20110208_01.pdf

[感染性胃腸炎]

石巻管内で警報継続中。
患者数は横ばい状態であるが、施設におけるノロウイルスが原因の集団発生が報告されているので今しばらく注意が必要である。

[伝染性紅斑]

気仙沼管内で警報値を超えた。

[A群溶血性レンサ球菌咽頭炎]

石巻管内で警報値を継続中。

[流行性耳下腺炎]

気仙沼管内で注意報値を超えた。

[病原体検出情報]

～宮城県保健環境センター～

インフルエンザ患者より
塩釜管内(岩沼) 第8週採取分 インフルエンザウイルスA(H3)遺伝子 6件
第8週採取分 インフルエンザウイルスA(H1)pdm遺伝子 1件
感染性胃腸炎集団発生事例より
栗原管内 第9週採取分 ノロウイルス(GII) 5件
気仙沼管内 第9週採取分 ノロウイルス(GII) 4件
A型肝炎患者より
仙南管内 第8週採取分 A型肝炎ウイルス遺伝子 1件
第9週採取分 A型肝炎ウイルス遺伝子 1件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	第7週採取分 (2.11～2.17)	第8週採取分 (2.18～2.24)	第9週採取分 (2.25～3.3)
インフルエンザウイルスA(H3)	2件	0件	0件
インフルエンザウイルス解析中	1件	3件	1件
RSウイルス	2件	2件	0件
サイトメガロウイルス	1件	0件	1件

インフルエンザ関連情報 (患者報告年齢群別割合)

報告週	0～4歳 (%)	5～9歳 (%)	10～14歳 (%)	15～19歳 (%)	20～29歳 (%)	30～39歳 (%)	40～49歳 (%)	50～59歳 (%)	60～69歳 (%)	70～79歳 (%)	80歳～ (%)	総数 (人)
2013年 第1週	26.2	19.2	11.0	6.4	10.5	6.4	5.8	9.9	1.2	0.6	2.9	172
第2週	23.3	21.0	8.6	5.4	9.5	9.5	8.9	5.9	4.1	1.9	1.7	828
第3週	21.9	24.0	14.1	6.8	9.5	8.5	6.0	4.4	2.7	1.2	0.9	1,749
第4週	21.3	28.5	16.7	5.6	5.2	7.7	6.9	4.1	2.4	1.1	0.6	2,850
第5週	20.3	29.9	16.4	4.8	5.6	8.0	5.9	3.9	2.8	1.3	1.2	2,603
第6週	19.0	29.5	19.6	4.3	4.5	6.8	6.3	4.3	3.3	1.2	1.1	2,036
第7週	21.9	26.4	15.3	4.2	5.2	7.2	7.2	5.0	3.2	2.2	2.3	1,146
第8週	21.2	27.7	17.6	3.7	5.2	6.8	5.4	4.9	3.6	2.6	1.5	1,008
第9週	23.1	27.3	20.4	3.8	3.2	6.6	6.4	3.8	2.5	1.3	1.6	761

インフルエンザ定点
インフルエンザ定点は、内科定点と小児科定点を合わせたもので、県全体で93定点です。
宮城県:51定点
仙台市:42定点
合計:93定点

定点把握の対象となる5類感染症(全国 2013年第7週)

(国立感染症研究所感染症情報センターホームページより抜粋)

インフルエンザ: 定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別では愛知県(30.44)、岐阜県(26.46)、広島県(26.16)、鹿児島県(25.81)、沖縄県(25.34)が多い。
RSウイルス感染症: 報告数は1,160例と3週連続で減少した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約75%を占めている。咽頭結膜熱: 報告数は減少した。宮崎県(1.22)、大分県(0.75)、富山県(0.72)が多い。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎: 報告数は減少した。石川県(5.83)、鳥取県(4.16)、富山県(4.10)が多い。
感染性胃腸炎: 報告数は減少した。宮崎県(15.44)、熊本県(13.92)、大分県(11.36)が多い。
水痘: 報告数は減少した。宮崎県(3.61)、沖縄県(3.50)、鹿児島県(2.24)が多い。
手足口病: 報告数は2週連続で減少した。石川県(1.17)、福岡県(1.06)、大分県(0.89)が多い。
伝染性紅斑: 報告数は増加した。岩手県(0.20)、宮城県(0.19)、鳥取県(0.11)が多い。
百日咳: 報告数は減少した。秋田県(0.06)、滋賀県(0.06)が多い。
ヘルパンギーナ: 報告数は減少した。長崎県(0.09)、福岡県(0.08)、熊本県(0.08)が多い。
流行性耳下腺炎: 報告数は増加した。福井県(0.95)、秋田県(0.91)、山形県(0.67)、大分県(0.67)が多い。
マイコプラズマ肺炎: 報告数は2週連続で減少した。宮城県(2.08)、埼玉県(1.67)、栃木県(1.29)が多い。